



子どもを伸ばすには・・・待つこと、そして、言葉かけ

「ここ、水がこぼれて危ないから拭いています。」「印に合わせて机を置きます。」と掃除中の子どもたちが伝えてくれます。5校時が始まると当番が自分たちで号令をかけます。すでに全員が着席しています。友達が「分かん。」と呟くと「ブロックですればいいよ。」と伝え、計算用ブロックを使って考え始めます。・・・ある日、1年担任が出張で、代わりに教室に赴くと一人ひとりが自分で考えて動いていました。上級生の学級でも今年度の重点目標である“自分で考え、伝え合っている姿”を見ることができています。

子どもを伸ばすには、子どもたちが自分で考えるように大人が「待つこと」が必要になるでしょう。どうするのかなと待っていると、たいてい子どもたちは考えて動き出します。その時に「自分で考えてできるなんて、見ていて嬉しくなります。」等と言葉をかけるようにしています。



ご家庭や地域でもぜひ「待つこと」そして「言葉かけ」を繰り返してほしいと思います。子どもたちを伸ばす言葉かけに次のようなことが大切とされています。

【子どもを伸ばす言葉かけ】

- 結果ではなく、それまでの努力やチャレンジした過程を認める:「あきらめずにがんばったね。」等
- 「私」を主語にした言葉(I(アイ)メッセージ)を伝える:「~してくれて、私はうれしかったよ。」等



努力や過程を認めて育った子は、才能があっても努力する必要があると考え、挫折しても努力を重ねて乗り越えられるとがんばります。がんばること、学ぶこと自体に価値を置き、困難なことにも粘り強く取り組みます。このことは、「意欲と根気」の研究を続けてきたスタンフォード大学のキャロル・S・ドゥエック教授の調査結果から分かったことです。また、I(アイ)メッセージは、評価ではなく自分の気持ちを伝えると効果的です。

1学期末を迎えますが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげで多くの行事や取組を計画通りに実施することができました。子どもたちが自分たちでハッピーをつくり出そうとがんばることができました。ありがとうございました。

夏休み 子どもたちは家庭で、地域で育ちます

夏休みに、子どもたちはご家庭で、地域で過ごして育っていきます。夏休みだからこそできる体験からいろいろ学んでほしいと思います。そこで大切にしてほしいことは、次の3点です。

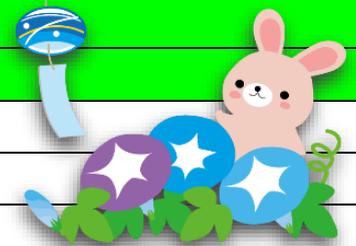


- *体験のめあてや目的をしっかりとつこと
- *「なぜ?」「どうして?」と問いかけをもって考えること
- *人とのかかわりをもつこと

また、夏休みは、家庭や地域社会のルールやマナーを学ぶよい機会です。学期中、公園での遊び方や注意の受けとめ方、よその敷地内で遊ぶ等、気になる実態があり、学校でも指導しました。ご家庭、地域でのご指導よろしく申し上げます。

<7月の主な学校行事等>

1	月		17	水	4校時授業
2	火	参観日 個人懇談(希望者)	18	木	
3	水	健康チェック フッ化物洗口 歯く齶	19	金	終業式 給食終了
4	木		20	土	
5	金	お話の会(1-1)	21	日	
6	土		22	月	夏季休業~8/24まで
7	日		23	火	すくすく教室
8	月	SC 来校	24	水	学校保健安全委員会
9	火	選書会	25	木	図書ボランティア(PTA)10:00~11:30
10	水	フッ化物洗口	26	金	
11	木	シマヤ出前授業(5年)	27	土	
12	金	お話の会(1-2)	28	日	
13	土	短縮授業	29	月	
14	日	短縮授業	30	火	
15	月	海の日	31	水	
16	火				



8月以降の主な学校行事(予定)

8月9日(金)~15日(木) 当番不在日

8月26日(月) 始業式, 給食開始, 短縮授業 13:00 頃下校

8月27日(火)~30日(金) 短縮授業 13:00 頃下校

「転出予定のある方」へ

令和6年7月1日~令和7年3月31日までの間に転出の予定がある方は、できるだけ早く担任までお知らせください。わかっている範囲で結構です。よろしくお願いします。

★夏休み中に本の貸し出しを行います

- 1 日時 8月2日(金)
9:30~12:00
- 2 場所 くじら図書館
- 3 貸出学年... **3~6年**
- 4 その他
(1) 貸出冊数... 2冊まで
(2) 本の貸し出しのみ行います。図書室での読書はできません。
(3) 自転車で来ないようにしましょう。

★令和6年度「くらしのやくそく」の見直しについて(途中経過報告)

今年度は、「くらしのやくそく」について4年生以上の各学級から出た意見を基に、各委員長による委員長会議、そして、代表委員会で協議していきました。

さまざまな意見の中から子どもたちが注目した内容は「キーホルダー」「学校から帰ってからの遊び方」についてです。各会議では、子どもたちが日々の生活の中で問題に感じていることを子どもたち自身で解決していこうとする熱意が感じられる意見が活発に飛び交いました。以下のその一部をご紹介します。



(案) **外で遊ぶときは、必要のないものは持って行かないようにしましょう。**

- お菓子を持って来てその場に捨てたらサルなどの獣が寄りついてしまうから、お菓子は持って来ない方がいいと思います。
- お菓子のごみが公園などに散らかっていることがあるけど、そのごみを拾って片付けてくださっている地域の人がいらっしゃるので、これ以上迷惑をかけてはいけないと思います。

今後は、教職員や家庭・地域を含む学校運営協議会の意見も聴取しながら最終決定をし、子どもたちに説明するとともにホームページなどで公表していく予定です。子どもたちによる子どもたちのための明るい学校生活づくりにご家庭・地域の皆様にも温かいご支援をよろしくお願いいたします。